

報道関係各位

【武蔵野美術大学】100周年事業シンボルマーク・コンセプトワード決定！

武蔵野美術大学（所在地：東京都小平市/学長：榊山祐和）は、1929年に帝国美術学校として開校し、来る2029年には創立100周年という大きな節目を迎えます。その周年事業の一環として、本学在学学生、卒業生、教職員対象にシンボルマーク・コンセプトワード（標語）の公募を行い、最終的にシンボルマーク208点、コンセプトワード245点と大変多数のご応募をいただきました。

教職員、校友で構成する審査委員会での厳正なる選考の結果、最優秀賞各1点、優秀賞各2点が決定いたしました。採用されたシンボルマークとコンセプトワードは、100周年事業にかかる本学広報物に幅広く活用されていく予定です。

100周年事業シンボルマーク

【最優秀賞】



* 商標登録申請中

■ 受賞者：

牧寿次郎さん（造形学部基礎デザイン学科／2007年度卒業）

■ コンセプト：

武蔵野美術大学（Musashino Art University）のロゴである「MAU」のデザインに、周年を記念する「100」という数字を重ね、時間の蓄積を示しました。

この「100」には、右下の「U」につながる動きが含まれます。横向きの「0」が縦向きの「0」に変わる様子は、挑戦し、倒れても立ち上がる、「つくること」のプロセスを思わせます。

こうして元のロゴを変化させることで、このシンボルマークは、変わり続ける大学のかたちを表しています。

■受賞者コメント：

創立 100 周年、そして翌年の留学生受け入れ 100 周年、おめでとうございます。

次の 100 年に向けて、学生一人ひとりと真摯に向き合い、「変わり続ける」大学であることを願っています。

【優秀賞】



■受賞者：

加藤貴司さん（造形学部視覚伝達デザイン学科／2004年度卒業）

【優秀賞】



■受賞者：

千頭龍馬さん（造形学部工芸工業デザイン学科／2017年度卒業）

100周年事業コンセプトワード

【最優秀賞】

美はつづく。

*商標登録申請中

■受賞者：

有木陽美さん（造形学部基礎デザイン学科／2020年度卒業）

■コンセプト：

在学中から、武蔵美の「美」のロゴが悠然としつつ力強さがありとても印象的でした。100周年だからこそ原点に立ち帰り、武蔵美に関わるすべての人の背筋が伸びるようなワードにしたいと思い考案しました。

■受賞者コメント：

この度はコンセプトワードに選んでいただき、誠にありがとうございます！卒業後も、このような形でもサビに関わる機会をいただけたことをとても嬉しく思います。100周年という大きな節目に、微力ながら貢献できれば幸いです。

【優秀賞】

つくりつづける、変わりつづける。

■受賞者：

有木陽美さん（造形学部基礎デザイン学科／2020年度卒業）

*最優秀賞受賞者と同一者

【優秀賞】

つくる。つなぐ。つづく。

■受賞者：

成田美和子さん（短期大学部デザイン科グラフィックデザイン専攻／1998年度卒業、短期大学部専攻科デザイン専攻グラフィックデザインコース／1999年度卒業、造形学部通信教育課程デザイン情報学科コミュニケーションデザインコース／2019年度卒業）

審査委員長コメント

■ 審査委員長：視覚伝達デザイン学科教授 中野豪雄

ムサビが積み上げてきた100年をどのように形／言葉にするか。非常に難しい命題だと思うが、応募作品からは、過去だけにとどまらずこれからの未来を展望していこうとする意志が感じられる作品が数多く見受けられた。多様性を認めながらも芯のあるクリエイティビティを目指す思考は、100年経っても変わらず受け継がれていくべき財産である。こうした信念のようなものが、世代や学科や専門性を超えて共有されていることが実感できる、大変有意義な審査会であった。

その他の審査員のコメントはこちらからご覧いただけます。

https://www.musabi.ac.jp/100th_pr/award/about/#message

審査会当日の様子（本学市ヶ谷キャンパス）



< 本件に関するお問い合わせ先 >

武蔵野美術大学 100周年事業シンボルマーク・コンセプトワード係

042-342-6038 / mau-100th@musabi.ac.jp